

令和6年度 第8回理事会

日時：令和6年12月24日（火）：19：00～ 場所：ZOOM（オンライン）

出席者：（理事）磯野、小林、井村、有泉、大西、鮎川、渡邊、上田、鈴木、菊池、古屋、山下
（部長・副部長）丸茂、藤原、小林

慶事：0件 弔事：0件

施設数：153施設 会員数：947（施設会員901/在宅会員46）人（12月22日現在）

【はじめに（磯野会長）】

12月5日意見交換会を開催して、繋がりを作ることに1歩になったと思います。次回は郡内で出来ればと思います。意見交換会で、士会でACPに取り組まれているかの意見があり、在宅医療連携推進会議はやっているが、看取りや入退院支援がどこでもテーマになってきて、士会としてはまだ取り組んでいない。訪問リハの事業に行ってもそのような方に関わるのでしっかりACPについて進めてもいいのではと言われた記憶があるので、進めていく必要はあるので今後取り組んでいければと思う。

合同学術大会は、現在参加登録が62人で、予算としては350人を予定しており締め切りが近い、懇親会は100人申し込みの所20名なので、また周知を宜しくお願いします。

協会の理事会が傍聴できることは何年か前からやっていますが、県士会も理事の中で持ち回りで参加をしていきたい。代議員で磯野会長、高村副会長が参加している。

1年間お疲れ様でした来年に向けて課題があるとおみですが、良い年を迎えて来年もよろしくお願ひしたいと思ひます。

【審議事項】

1. 第44回 関東甲信越ブロック理学療法士学術大会 ならび 第28回山梨県理学療法学術集会の合同開催について：第44回関ブロ準備委員会

【報告事項】

- ① 2024年度理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催報告：士会支部局
- ② 2024年度第2回士会支部主催症例検討会（中西部支部）実施報告：士会支部局
- ③ 2024年度第1回士会支部主催症例検討会（富士東部支部）実施報告：士会支部局
- ④ 2024年度第1回学術研修会開催報告：学術局
- ⑤ 福祉保険局こども福祉部主催研修会 報告：福祉保健局
- ⑥ 医療・介護報酬に関する基礎的研修会：福祉保健局
- ⑦ 第25回地域理学療法研修会の開催について：業務推進局
- ⑧ 令和6年度山梨県地震防災訓練参加報告：災害対策支援委員会
- ⑨ 令和6年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第2回災害対策支援委員会報告：災害対策支援委員会
- ⑩ 2024年 認知症対策委員会 研修会の報告：認知症対策委員会
- ⑪ 令和6年度糖尿病対策推進委員会研修会 報告：糖尿病対策推進委員会
- ⑫ 令和6年度第4回がんリハビリテーション推進委員会 会議報告：がんリハ推進委員会

【事務管理局より】

- ・12月までに行った研修会について講師の源泉徴収の提出を早急にお願ひします（令和6年1月～12月分の源泉税を1月中旬～末に税務署に提出のため）。
- ・今年度の活動を終えた局・部・委員会はLINEWORKS トークで丸茂にご連絡ください。
- ・来年度の事業計画（案）、予算（案）の準備をお願ひいたします。局ごとにまとめていただき、局長より事務管理局への提出をお願ひいたします。提出先等は後日連絡させていただきます。

- ・監事・理事・委員長のトークルームに各部長も追加したい。部長に情報が伝わらないので共有を図っていき
たい。

【HP 管理（菊池）】

HP 管理の権利は菊池が行っている。議事録を載せるところは進んでいるが、それ以外の更新については相談したかった。メール内容についてはそれぞれで送ることが出来るが、現在は大西局長からメールを送信しているので、各部局それぞれでやるべきなのか、事務管理局でやるのかはあいまいになっている。組織図の旧体制は残っているので変えていく必要はある。

【終わりに（磯野会長）】

意見交換会を実施して、何か答えていかないと検討されていないと思われるので、検討して返したいと思います。

来年度の事業計画や予算は例年通りではなく、そのやり方が良かったのか、悪かったのか、局の中で検討して
いただいて、それに沿った予算を出していただけると良いと思います。面倒ではありますがやっていただきたい。

三役会議では今の事務所の活用や 5 年後 10 年後今の形を続けるのは検討が必要で、会議としては今の状況で
成立しているが事務所を置いておく意味や湯村温泉病院に駐車場を借りているが、あそこにおいてある意味を考
えていく必要がある。

研修会について、久しぶりに開催した研修で 1000 円を徴収した、次年度の研修について、どの研修に対して
参加費を取るのか取らないのか検討を宜しくお願いします。

次回：1月28日（火） 19：00～ Web 開催

【 審 議 】 (資 料 1)

提出者	磯野 賢・小林 司	部局名	第 44 回 関ブロ 準備委員会
議 題	第 44 回 関東甲信越ブロック理学療法士学術大会 ならび 第 28 回 山梨県理学療法学術集会の合同開催について		
内 容 および 提出趣旨	<p>来年度開催予定である第 44 回 関東甲信越ブロック理学療法学会と第 28 回 山梨県理学療法士学術集会を同時開催として実施についてご審議を頂きたい。</p> <p>1. 併催または合同開催について</p> <p>10 年前の関ブロ学会の際は別建てで行っている。その際、演題数を集めることに苦労した経緯がある。さらに物価高の影響で会場費等の高騰もあり、同時開催が望ましいと考えています。県学会として単独のセッションをつくる、または県学会からの予算使用に支障がでるなど何か弊害がおこる場合は併催で、特別に独立したセッションを作ることはない、ということでしたら合同となるようです。</p> <p>2. 大会長について</p> <p>関東甲信越ブロック協議会の規約として大会長の兼務は取り決めがないため、磯野会長を大会長兼務として話を進めたい。</p> <p>ご審議の程、よろしく申し上げます。</p> <p>提出資料 無</p>		
提出者の意見	<p>宮野学術集会部長には、関ブロ学術局の委員になって頂き、企画運営を一緒に行ってもらいよう内諾は受けている。</p> <p>提出資料 無</p>		
主な意見内容 など	<p>意見：今まで学術集会をスキップしたことがなく、分けると大変かと思う。関ブロを県の方で一部受け持っていたいただければ、県学会として成立すると思うので進めていきたい。</p>		
審議結果	審議（終了）		
	承認		
	対応部局または理事氏名	小林 司	
公開度	処理期間	なし	
	次回再検討予定	なし	
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資 料 2)

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	2024 年度理学療法部門責任者および若手を対象とした意見交換会の開催報告		
内 容 および 提出趣旨	<p><概要></p> <p>日時：2024.12.5（木）19：00～20：30</p> <p>場所：大木記念ホール</p> <p>参加者数：28 施設 100 名（管理者 22 名、若手 78 名）</p> <p>提出資料 有 別紙 責任者若手合同意見交換会 グループワーク成果 (LINEWORKS 理事会 提出フォルダ参照)</p>		
提出者の意見	<p>初開催であったが、こちらの想定以上に若手のスタッフが参加していただいていた。全体的に積極的な発言が見られたが、1 グループあたりの人数が多いことから十分にディスカッションできていない場面も見られた。また、今回は大木記念ホールで開催したため中西部の甲府市近辺施設は参加しやすかった半面、富士東部は 3 施設のみ参加となったため、今後は富士東部ならびに中西部を地区ごとに分けて開催し、1 回の参加者がある程度限定したなかでの交流会などが必要と考える。</p> <p>提出資料 有 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】 (資 料 3)

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	2024 年度第 2 回士会支部主催症例検討会（中西部支部）実施報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>2024 年度第 1 回中西部支部主催症例検討会</p> <p>開催日時：令和 6 年 12 月 12 日（木）18 時 30 分～19 時 30 分</p> <p>開催方法：オンライン（Zoom）</p> <p>発表者：宮澤征太郎先生（甲州リハビリテーション病院）</p> <p>座長：西野健太先生（加納岩総合病院）</p> <p>参加者：16 名</p> <p>ポイント付与種別：症例報告 脳血管疾患</p> <p>提出資料 有 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>発表 15 分、質疑応答 15 分で一度中締めをし、その後発表者と任意参加者のみで質疑応答を 30 分ほど継続した。事前に座長・発表者で顔合わせを行い、検討のテーマやポイントを共有すること、参加者に資料事前配布するなど質疑の活発化を図った。</p> <p>しかしながら参加者からの質問はなく、座長と運営担当者の発言が主となった。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】 (資 料 4)

提出者	平賀篤	部局名	士会支部局
議 題	2024 年度第 1 回士会支部主催症例検討会（富士東部支部）実施報告		
内 容 および 提出趣旨	2024 年度第 1 回富士東部支部主催症例検討会 開催日時：令和 6 年 12 月 18 日（水）18 時 30 分～19 時 00 分 開催方法：対面 発表者：小松玄太先生（富士吉田市立病院） 座長：竹下隼也先生（健康科学大学クリニック） 参加者：7 名 ポイント付与種別：症例報告 脳血管疾患 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	発表 15 分、質疑応答 15 分で実施した。対面開催としたため直接顔を見ながらのやり取りが良かった半面、一般聴講者が 0 名であったことから運営スタッフ中心での参加となった。今後は聴講者の積極的な参加を促す必要がある。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	意見：参加者 7 名は残念だが、富士東部で出来たことは良かった。引きつづきできればよいと思う。		
結果	報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資 料 5)

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2024 年度第 1 回学術研修会開催報告		
内 容 および 提出趣旨	第 1 回学術研修会 日程：2024 年 12 月 1 日（日）10:00～16:00（休憩 1 時間を含む） 会場：健康科学大学 富士山キャンパス（対面形式） 講師：西川 仁史先生（甲南女子大学 理学療法学科 准教授） テーマ：肩関節機能障害に対する理学療法～関節可動域障害に対する評価とアプローチ～ 受講費用：1000 円 参加者：26 名（内 学生 2 名） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	2024 年度第 1 回学術研修会のテーマは「肩関節機能障害に対する理学療法～関節可動域障害に対する評価とアプローチ～」として、甲南女子大学 理学療法学科 准教授 西川 仁史先生にご講演いただいた。講演では、肩関節可動域制限をきたす病態について理解を深めることができ、関節可動域制限の要因について教示いただいた。参加者からの反応も良く、有意義な研修会を開催できた。研修会開催にあたり、大きなトラブルもなく終了した。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り。		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資料6)

提出者	高村 裕子	部局名	福祉保険局 こども福祉部
議 題	福祉保険局こども福祉部主催研修会 報告		
内 容 および 提出趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会テーマ：なぜ今学校に理学療法士なのか、学校現場で起きていること ・ 講 師：粕山 達也 先生（健康科学大学） テーマ：「学校保健分野における理学療法士の関わり」 ：高村 裕子 先生（すばる多機能型重症児デイサービス甲府） テーマ：「事例報告～特別支援学校や地域の学校現場で経験した事例について」 ・ 開催日時：令和6年11月21日（木）19：00～21：00 ・ 開催方法：ZOOMによるオンライン開催 ・ 参加者数：46名（スタッフ、講師の6名含む） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	<p>組織改編して新しく設置されたこども福祉部の初めての研修会でした。 学校保健をテーマにした内容であったため、どのくらい興味を持っていただけるか心配でしたが、50名以上の事前申し込みがあり、当日も一般参加者40名で、思っていたよりも多く感じています。</p> <p>スクールトレーナーについても興味を持っている方が多い印象でした。 また、学校保健分野に関わっている弁護士の先生からの発言もいただきました。 ZOOMの運営自体も滞りなく行えました。</p> <p>研修会后</p> <ul style="list-style-type: none"> ① QRコードが読み込めない ② QRコードを読み込んだが「申し込み条件外」との表示がされた（県外の先生）からの問い合わせがあり、対応いたしました。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	<p>QRコードへの対応</p> <p>有泉：②はアナログで対応した。①の読み込めない方は、協会アプリを通しての読み込みと認識できていなかった。</p> <p>井村：アプリのアップデートについては解決されたのか。研修会の案内で注意書き等あると良いのでは。</p> <p>菊池：アプリは脆弱性に対応していくので、アップデートは必要かと思います。大きなアップデートはあまりないかと思いますので、今後は大丈夫かと思います。</p>		
結果	QRコードの場合にはアプリを使用しての読み込みなどの案内を検討		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資 料 7)

提出者	遠藤 勇志	部局名	介護保険部
議 題	医療・介護報酬に関する基礎的研修会		
内 容 および 提出趣旨	<p>毎年開催している医療保険部と介護保険部の合同研修会を、下記期日にて開催致しましたのでご報告致します。今回も前回同様に対面にて開催致しました。</p> <p>日 時 : 令和6年12月13日(金) 19時00分~20時30分</p> <p>会 場 : 山梨県立青少年センター 2階 第1研修室</p> <p>テーマ : 「基礎から学ぼう! 医療・介護保険制度」</p> <p>講 師 : 医療保険 水上 卓 (赤坂台病院)</p> <p>介護保険 遠藤 勇志 (山梨ライフケア・ホーム)</p> <p>目 的 : 社会保険制度に関する基礎的な研修内容とし、診療報酬・介護報酬の各種制度の理解を深め、専門職としての自覚を高める事です。</p> <p>参加人数 : 事前参加登録済み16名中13名が実際に参加されました。 (欠席者数 : 3名)</p> <p>提出資料 有 別紙1枚 資料番号等 (添付資料 1)</p>		
提出者の意見	<p>研修目的にある通り本研修は、医療・介護保険の基礎的な知識の習得であり、推奨の経験年数は1~3年目の士会員となっております。昨年度同様、「認定・専門理学療法士更新点数 1.5 点」、もしくは「登録理学療法士更新ポイントカリキュラムコード区分 1-8 の【医療保険サービスと理学療法】1.5 ポイント」のポイント付与対象の研修会として実施し、研修会終了時にアンケートを行いました。アンケート結果より「具体的なサービスによる報酬の算定方法を教えて欲しい。」、「対象年数を1~3年目としているが、少々難しいのでは。」など、具体的な内容の質問や運営側の視点に立ったご意見を頂きました。また「短時間の中で、ここまで集約した話が聞けて良かった。」、「勉強になった。」などのお言葉を頂き、参加された先生方にもご満足頂けたのではないかと思います。</p> <p>提出資料 有 別紙 1枚 資料番号等 (添付資料 2)</p>		
主な意見内容 など	<p>制度関連の研修会の性質上、具体的な質疑応答に対しては、原則、参加申し込み時の事前質問にて受け付け、研修当日までに講師達と打ち合わせを行い、回答内容を決定し、講義内で回答致しました。また当日に質問された内容に対しては、士会としての回答と、講師の私見を区別しながら回答を行おうと考えていましたが、今回は当日の質問はありませんでした。</p>		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

令和 6 年度
医療・介護報酬に関する基礎的研修会の
アンケート結果について

【集計結果について】

事前参加登録済み 16 名の内、13 名が実際に研修に参加されました。アンケートの回答者は 13 名でした。

問 1. 経験年数を教えてください。

- ① 1 年目 (3 名 : 23%) ② 2~3 年目 (4 名 : 31%) ③ 4~5 年目 (2 名 : 15%)
④ 6~10 年目 (2 名 : 15%) ⑤ 11~20 年目 (1 名 : 8%) ⑥ 21 年目以上 (1 名 : 8%)

問 2. PT として、自分が行なった業務に対して算定できる診療報酬を理解していますか？

- ① 理解している (0 名 : 0%) ② 大まかなことはわかる (11 名 : 85%) ③ わからない (2 名 : 15%)

問 3. PT として、自分が行なった業務に対して算定できる介護報酬を理解していますか？

- ① 理解している (2 名 : 15%) ② 大まかなことはわかる (9 名 : 70%) ③ わからない (2 名 : 15%)

問 4. 診療・介護報酬に関して興味を持っていますか？

- ① 大いに持っている (3 名 : 23%) ② 多少持っている (10 名 : 77%) ③ 興味ない (0 名 : 0%)

問 5. 今日の研修会はいかがでしたか？

- ① 勉強になった (12 名 : 92%) ② 多少参考になった (1 名 : 8%) ③ 参考にならなかった (0 名 : 0%)

問 6. 今後このような研修会が企画されれば参加したいと思いますか？

- ① したい (7 名 : 54%) ② 内容によって参加 (6 名 : 46%) ③ したくない (0 名 : 0%)

問 7. 医療・介護保険部の活動に対して要望等ありましたらお書きください。

- ・推奨経験年数 (1~3 年) には難しい。5 年目以上の内容と感じた。〇〇サービス 1 回でいくら患者様からもらっている。〇〇会議とかで〇〇円もらっている、入院の大まかな流れに対して、どこで、どの程度の金額をもらっているのか (1 人当たり)、入院から退院までリハビリが関わる部分でいくらもらっているか等の具体的な内容となっていた方が自分のリハビリに対する価値が分かり、質の向上意識に繋がると思った。
 - ・自分の業務の内容がどの様に診療報酬となっているのか少したが理解できた。
 - ・介護度による退院後のサービスの回数や福祉用具のレンタル数の上限や基準を詳しく教えて欲しい。
 - ・普段は、介護保険に関わっております。新規で始める利用者様やご家族様に説明するのですが、理解して頂く事も難しいです。また算定の方法をケアマネがほとんど理解できていない事も問題あると思いました。今回の短時間で 2 つの保険内容を説明するのは、本当に大変だと思いました。ありがとうございました。
- 加えて、一人職場なので相談相手がいけないのも不安です。

【 報 告 】 (資 料 8)

提出者	原 啓太	部局名	地域包括ケア推進部
議 題	第 25 回地域理学療法研修会の開催について		
内 容 および 提出趣旨	<p>下記の内容で上記研修会を開催予定です。</p> <p>日時：令和 7 年 1 月 30 日(木) 19：00～20：30(受付 18：30～)</p> <p>会場：山梨県立大学 池田キャンパス 101 講堂</p> <p>テーマ：「いまさらきけない地域理学療法の現状 ～急性期・回復期から始まる地域理学療法～」</p> <p>内容：地域理学療法に関わる現状、提言（磯野会長） 地域における理学療法士の活動紹介（笠井 PT、原田 PT、木村 PT） グループワーク まとめ、相談・お問い合わせ窓口の紹介</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>・士会員各位に地域理学療法への興味、関心を持っていただく為、提言・活動紹介を企画しました。</p> <p>・グループワークでは活動や実体験の共有を行います。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)	B (会 員)	C (一 般)

【 報 告 】 (資 料 9)

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和 6 年度山梨県地震防災訓練参加報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>令和 6 年度山梨県地震防災訓練 日時：令和 6 年 11 月 24 日（日）8：30～12:00 会場：身延総合文化会館 参加：萱沼先生（PT）、中山先生（PT）磯野事務局長（OT）、吉田先生（OT）中嶋先生（ST） 活動内容：JRAT 広報活動 車いすによる要配慮者の移動および階段昇降の伝達 段ボールベッドと車いすを使用した移乗伝達方法の伝達 段ボールベッドとパーテンションの取り扱いや必要性の説明。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>身延町職員 12 名を対象に上記の内容を実際に体験していただいた。 参加された先生のコメント 福祉避難所の支援では実際に車いすで搬送された方が安全に階段を昇降する方法の指導や、段ボールベッドの利点と欠点、パーテンションの設置方法、ベッド転落防止の説明なども加えて行政の方々に支援にあたっていただく方法をアドバイスすることができました。JRAT の存在や支援の内容を見ていただくことで、有事での力を発揮できるものだと感じていただけたと思います。今後も、このような大規模な災害研修だけでなく、小規模レベルでも JRAT の存在を知っていただき、支援活動に参加していきたいと思う。</p> <p>以上 南海トラフ地震に備え、毎年山梨県地震防災訓練には参加し、有事の際には円滑に JRAT が避難所等で支援活動が出来るように広報活動を継続していきます。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資 料 1 0)

提出者	大野 了資	部局名	災害対策支援委員会
議 題	令和6年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 第2回災害対策支援委員会報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>日時：令和6年12月16日（月）19：00～19：30 WEB開催</p> <p>参加：PT士会：大野、萱沼 OT士会：磯野、吉田、 ST士会：赤池、中嶋、中込、渡邊</p> <p>議題：令和6年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会 災害対策支援委員会研修会 令和6年度地震防災訓練参加報告</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
提出者の意見	<p>令和6年度山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会研修会 今年度も昨年度と同様に、Lスタッフ育成の観点から、REHUG研修会を実施予定。 山梨J R A Tと共催。</p> <p>日時：令和7年3月15日（土）13時～17時予定 受付12時半開始</p> <p>会場：大木記念ホール</p> <p>人数：30～40名程度で4チーム程の規模で実施する予定。</p> <p>※参加者には事前に基本的なロジスティック内容のビデオ視聴を依頼する予定。 研修内容は、REHUGの総論と実際にREHUGを実施。今後の予定としては、研修会 の案内を令和7年2月1日頃に山梨J R A T事務局より発送する。ファシリテーターの事 前練習をREHAG研修会前に実施予定。</p> <p>令和6年地震防災訓練について 別紙にて報告。</p> <p>提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り。		
公開度	A（部長・委員長・代議員）	B（会 員）	C（一 般）

【 報 告 】 (資 料 1 1)

提出者	清水 真治	部局名	認知症対策委員会
議 題	2024 年 認知症対策委員会 研修会の報告		
内 容 および 提出趣旨	2024 年 12 月 3 日 19 : 00 ~ 20 : 30 認知症対策委員会 研修会として、順天堂大学医学部 附属順天堂東京江東高齢者医療センター リハビリテーション科 國枝 洋太 先生に 「認知症基礎知識とリハビリテーション」をテーマにご講演頂いた。Zoom ウェビナーの研 修会とした。参加申し込み 61 名 参加者 43 名 (講師・座長を含む) であった。25 名の方 からアンケートも頂いた。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・参加申し込み人数が 61 名と多く、ウェビナーで行うこととしたが、参加人数から ZOOM ミーティングでもよかった。 ・ZOOM での開催やポイント付与があることで、平日 (火曜日) の夕方の開催であったが、 多くの方々の参加があった。 ・参加者アンケートから、勉強になったことなど好意的な意見を多数頂いた。(別紙参照) 提出資料 有 別紙 2 枚 認知症対策委員会の研修会后アンケートまとめ (LINEWORKS 理事会 提出フォルダ参照)		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

【 報 告 】 (資 料 1 2)

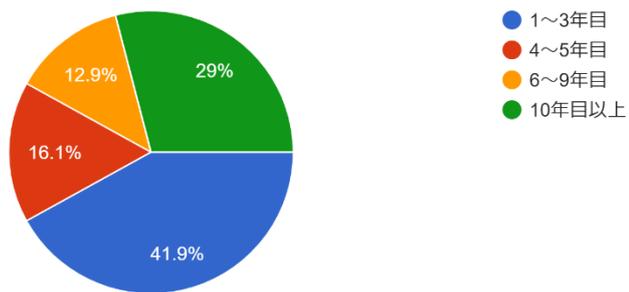
案件番号 2024- -

提出者	藤田 理恵	部局名	糖尿病対策推進委員会
議 題	令和 6 年度糖尿病対策推進委員会研修会 報告		
内 容 および 提出趣旨	日 時 : 令和 6 年 11 月 29 日 (金) 19 : 00 - 20 : 30 場 所 : 山梨県立青少年センター 第 2 研修室 テーマ : 「しめじ」と「えのき」で覚える糖尿病合併症と運動療法 講 師 : 山梨内部障害理学療法研修会 役員 渡邊 亮 先生 (湯村温泉病院) ・ 新井 則善先生 (湯村温泉病院) 萩原妃里子先生 (石和共立病院) ・ 土屋 秀仁先生 (甲府共立診療所) 内 容 : 糖尿病合併症の基礎、糖尿病運動療法の基礎 血糖自己測定、糖尿病末梢神経障害の検査評価の実際 参加者 : 35 名 提出資料 有 研修会アンケート		
提出者の意見	経験年数の若い PT 向けの研修会とし、血糖自己測定など実技を交える事で対面での参加を促す ような内容を企画実施。定員 40 名のところ 35 名の参加、約 40% が経験年数 1-3 年目。アンケ ート結果より対面研修会の経験が少ない若手 PT にとって体験を交える事で、参加しやすい等良 い感想につながっていると感じました。 提出資料		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		

令和6年度糖尿病対策推進委員会 アンケート結果 回答 31件

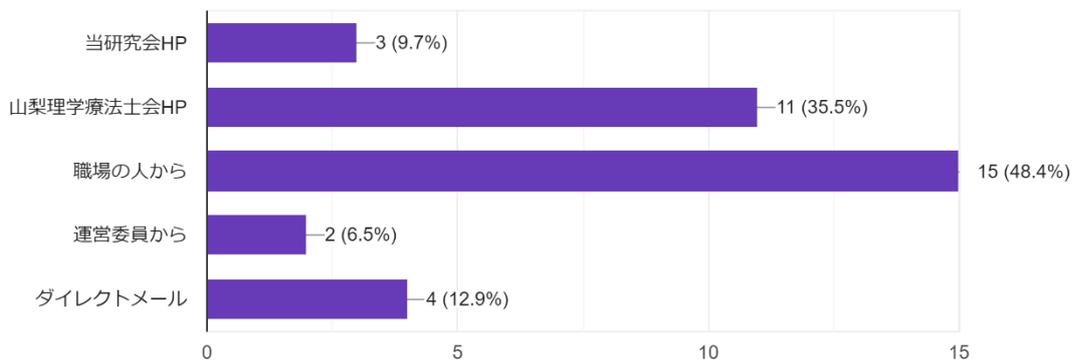
2、経験年数をお答えください

31件の回答



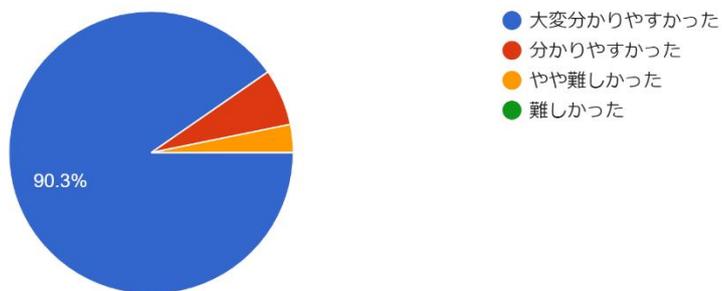
3、本日の研修は何からお知りになりましたか？

31件の回答



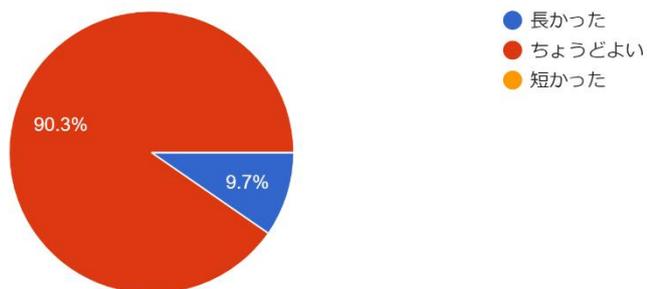
4、研修会の内容についてあてはまるものを選択してください

31件の回答



5、講義時間は適切でしたか

31件の回答



6. 研修会の感想をお聞かせください 28 件の回答

- ・糖尿病を合併している症例は多いので、気を付けるポイント、見るべきことが整理できて良かった。「糖尿病は運動器」、よく理解できました。
- ・自分で血糖値検査を初めて行いました。とても良かったです。
- ・今回の講義で学んだことを今後の臨床に生かしていきたいと思います。
- ・勉強になりました。
- ・基礎から学び直せて良かったです。
- ・糖尿病の基礎からしっかりと教えていただき良かったです、明日からの臨床にも役立てたいと思います。
- ・とても分かりやすい研修会でした。
- ・今後糖尿病患者さんのリハを行う時に参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・最後の質疑応答で、臨床での注意点等聞けて、ためになりました。
- ・基礎知識を改めて復習できるだけでなく、新しい知識や臨床に出ている方々のお話が聞けて良かった。
- ・内容が分かりやすかったです。
- ・糖尿病について知れてよかったです。
- ・糖尿病について知識の再確認やリハでの気をつける点を整理することができてとてもよかったです。
- ・臨床で使える内容が多く勉強になりました。
- ・実技の時間を挟んでくれた事で、理解しやすかった
- ・大変分かりやすかったので、次の機会がありましたら、ぜひ参加させていただきます。
- ・実際の現場で活かしていきたいと思いました。
- ・当院にも糖尿病合併患者が多いので
- ・合併症に注意しながら、予防指導に努めていきたいと思いました。
- ・ありがとうございました。
- ・学校で勉強した糖尿病の知識を今までどのように活用して良いかわからなかったのですが、臨床を経験している先生方の言葉を聞き、これから糖尿病に罹患している患者様との関わり方がわかりました
- ・今後の臨床に生かしていきたいです
- ・とても勉強になりました。既往で糖尿病がある患者様には気をつけようと思っていたのですが、既往にない方に対してもしっかりと問診などして確認することの大切さを改めて感じました。
- ・糖尿病という身近にも感じられる疾患について、改めて認識できました。
- ・臨床でもう一度評価を行ってきたいと思います。
- ・糖尿罹患者は多いが血糖程度しか数値をみていなかったため、他の数値やフィジカルアセスメントを行っていききたい
- ・運動負荷の設定やその際の注意点について理解ができた。
- ・今回自己血糖測定が行えると聞き参加させていただきました。実際に体験してみると痛みもあり、普段患者様が行っている事を体験でき、患者様とも共有できると感じました。
- ・基礎的な内容から学ぶことができ、明日からの臨床に活かしていきたいと思います。今回はありがとうございました。
- ・非常にわかりやすく勉強になりました。
- ・ありがとうございました。
- ・血糖測定など普段できない経験をすることができとても学びになった。
- ・臨床の中で今日学んだ事を更に意識して患者に関わる必要性を感じました。
- ・血糖測定は職場で見ることが多かったが、実際に測定した事がなかったので良い経験になった。思ったより痛かったり手順も多いので自己管理が課題になりやすいなと思った。人工透析を行っている患者様を担当で持つことも多いため、再度運動強度や身体所見を確認してみようと思った。
- ・実技研修があると盛り上がりを感じます。

7. 今後取り上げてほしいテーマや内容がありましたらお書きください 12 件の回答
- ・ 症例検討や今回のような実技を入れてもらえるといいです。ありがとうございます
 - ・ 低血糖時の対応方法
 - ・ 循環器
 - ・ フレイル予防
 - ・ 糖尿病患者の予後予測、転倒リスクについて
 - ・ ケースを挙げた中での評価やアプローチについて
 - ・ 心臓疾患に対する運動療法
 - ・ 特にありません。
 - ・ 透析患者への運動療法
 - ・ ありがとうございました
 - ・ フットケアについて
 - ・ その他合併症についての具体的な運動について

【報告】資料 1 3

提出者	山田 洋二	部局名	がんリハ推進委員会
議 題	【活動報告】令和 6 年度第 4 回がんリハビリテーション推進委員会 会議報告		
内 容 および 提出趣旨	<p>●開催日時：令和 6 年 11 月 27 日（水）19：30-20：40 Zoom オンライン会議</p> <p>●参加者（敬称略） 山田洋二委員長（帝京科学大学）、遠藤 浩委員（山梨大学医学部附属病院）、中島秀太委員（山梨県立中央病院）、宮下良美委員（どちペインクリニック）、上田 修理事（恵信リハビリテーション病院）</p> <p>●議事内容 1) NPO 法人がんフォーラム山梨主催「山梨がんフォーラム」について（10/6、12/22） 2) 2025 年 3 月 11 日 「第 1 回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会」について 講師 静岡がんセンター 米永悠佑 PT、田尻寿子 OT</p> <p>●審議事項 1) 2024 年 12 月 22 日 山梨がんサミット 2024 第 3 弾 ・内容は前回同様にロコモ評価 リンパ浮腫についてのブースを出す。 ・運営スタッフの確保について：原則、県士会員に案内メールなどで研修会を周知し希望者を募る。お手伝いは 3~5 人程度必要 ・リンパ浮腫に関しては業者（ナック商会営業担当 大野様）中心に対応していただく 2) 2025 年 3 月 11 日 「第 1 回 山梨県理学療法士会がんのリハビリテーション研修会」について 会場：大木記念ホール（ハイブリッド式）、講師宿泊先：ホテル古柏園 JR 石和温泉駅下車徒歩 7 分、中央道一宮・御坂 IC より 15 分 懇親会の会場は甲州リハ周辺で検討中 受講費無料、認定・登録理学療法士ポイントを取得できる。 次回会議日程：2025 年 1 月 29 日 19：30~20：30 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等</p>		
主な意見内容 など	特になし。		
結果	報告の通り		
公開度	A（部長・委員長・代議員） B（会 員） C（一 般）		